



独立行政法人国立病院機構 熊本南病院機関紙

みなみかぜ

NO125
2020年1月

発行所: 熊本県宇城市松橋町豊福2338 独立行政法人国立病院機構熊本南病院 編集発行: 広報委員会



『令和最初の初日の出』 ～熊本城本丸に昇る初日の出～

晴天に恵まれた元日の朝、熊本城二の丸広場で令和最初の初日の出を見守りました。今季最低気温氷点下2、1度。病み上がりの中、東の空を見上げて待ちました。午前7時40分頃、本丸御殿の奥からオレンジ色の光が天守閣を照らしました。

2020 「ONE TEAM」になって、市民の健康を守りましょう。

masa1013

《基本理念》 熊本南病院は、地域に密着した優しく思いやりのある医療をめざします。

- 《基本方針》
- 1 患者さまの人権と意志を尊重した医療に努めます
 - 2 地域医療機関と連携し安全かつ安心な医療で地域の信頼に応えます
 - 3 医療の進歩に対応して日々研鑽し、質の高い医療を提供します

- 《診療方針》
- ◆ 地域基幹病院として、救急医療を含めた消化器・生活習慣病・循環器疾患、がん診断治療など 一般医療の充実に努めます。
 - ◆ 呼吸器疾患（結核、がんを含めた）の専門的医療を提供します。
 - ◆ 神経・筋疾患の専門的医療を提供します。

年頭にあたり



院長 金光 敬一郎



令和元年も過ぎ、2020年令和2年、いよいよ東京オリンピックの年になりました。

開催にあたり、いろいろ雑音も聞かれますが、オリンピックが賢明に努力して出場権を勝ち得た今回の東京大会で活躍することを祈るばかりです。

また、今年は年頭から中東の物騒なニュースが伝えられましたが、なんとか落ち着きそうな気配がします。世界の危機を自分のこととして考える時期が来ているようです。

さて、一昨年から力を入れてきている子供たちへのがん教育（熊本県指定がん連携拠点病院の事業の一つ）について、何を教えるか、何を一緒に話し合うかをもう一度考える時期になってきたと思います。

今までは小学校のがん教育は「がんはどのようにして起こるの」「がんを正しく理解し、早期に発見、治療でがんを治そう」など、がんの基礎、がん克服の話が中心でした。子供たちもよく理解し、親御さんと話し合うきっかけ作りにはなっています。

今後は、がんで亡くなることをどう伝えていけばいいのかが一番の課題となってきます。病気を治すことが一番求められる国立病院機構ですが、幸福で、充実した人生であったと、ご本人にも、ご家族にも納得できる看取りを地域と連携して行うことも重要と思われれます。

子供たちに亡くなることをどう伝えるか、事前に自分の人生の最後はどうしたいかを話し合い、決める事前指定書があることを伝え、生前に自分の生き様を考え、家族と相談することもとても大切なことと伝えなければならない、どう伝えるか、自問自答する2020年です。

今年もよろしくお祈りします。

2020年初春



宇城市立松橋中学校職場体験

庶務班長 伊藤 暢 朗



9月18日(水)～19日(木)の2日間、松橋中学校から2年生3名の職場体験を受け入れました。

毎年恒例となった職場体験です。

1週間前の9月12日に3名の生徒さんが事前打ち合わせにきました。3名の生徒さんは将来看護師や医師として興味を持っているということでした。

1日目は開校式と写真撮影を行い、その後金光院長よりお話しをしていただき、紫垣健康推進室事務局長より病院行事等の紹介、看護部門については堀田副看護部長の話しと、半日講義形式であったので生徒さんの表情も少し硬かったようです。

午後からは3病棟での看護体験があって、病棟の業務に興味津々で、体験終了後は看護師になりたいと言っていました。

2日目はリハビリの講義があり、その後リハビリ室に移動して、ビーズの飾り作りやリハビリの体験をして、笑顔でとても楽しそうでした。

その後、検査科・薬剤科・放射線科での体験はそれぞれの職場で、楽しく生き生きとした姿でした。

後日、生徒さんから感想文をいただき、「何か病院で働くような仕事をしたいと思います。」「その仕事を見ていると大変さが伝わってきました。」「さらに看護師になりたいという思いが強くなりました。」とみんな医療関係の仕事に益々興味を持ってきて、職場体験を受け入れてよかったなと思いました。

最後に、職場体験で当院に来てくれた生徒さんが将来医療関係の仕事に就き、立派な医療人となってくれることを願っています。



第12回健康かがやき祭



健康かがやき祭実行委員会
事務局 紫垣雅英

令和元年10月26日(土)、「第12回健康かがやき祭」を開催いたしました。前夜から早朝まで小雨模様の中、簡易テントをいく張りも設営し、お楽しみコーナー、フードコーナー、上り坂の垂れ幕、玄関横断幕や各ブースなどの設営を行いました。



ひまわり太鼓

さて当日ですが、今年も事前に職員が近隣のスーパー等に出向いてポスター掲示の依頼や各団体への働きかけ、さらには宇城広域連合消防本部よりAEDの普及活動として、AEDレンジャーが指導に参上、また宇城市健康づくり推進課「さしより野菜・たっぷり野菜プロジェクト」から2名の方が、栄養相談コーナーに応援に来ていただきました。

昨年同様、第12回健康かがやき祭のテーマを『野菜ファースト』ということで開催しました。

当日の天気予報は晴れということで、来院される方々の出足は順調で、600名を超える来院者があり、ここ数年の傾向ではありますが子ども連れの来院者がとても多かったようです。

午前8時に開催を知らせる爆竹を打ち上げました。素晴らしい秋晴れに恵まれ、受付開始時には行列ができ、混雑する中、金光院長による開会挨拶、ひまわり保育園児によるひまわり太鼓の演奏で「第12回健康かがやき祭」が始まり、瞬く間に各ブースとも行列が出来るほど活気あふれるスタートとなりました。

イベントは、例年の相談コーナーや各種測定、医学講演、フードサービス、お楽しみコーナー等の他に、今年は宇城市立不知火中学校マンドリン部による「秋桜マンドリンコンサート」を開催いたしました。不知火中学校マンドリン部は6月には「あじさいコンサート」など、各方面で活躍されています。リハビリ室に鳴り響く落ち着いた音色を聴いた患者さんや来院者から感嘆の声があがり、特に先生が演奏されるフルートとマンドリンの合奏はとても素晴らしいものがあり、参加者の拍手に会場全体が一つになった場面でもありました。

また、お楽しみコーナーでは、多くの来院者を見込み、昨年以上の量を用意しておりましたが、どれも来院者に好評で、全てのコーナーでほぼ売り切れました。特にフードコーナーでは、プロッコリー・ナス・コーンが入ったカレーライスはとても好評でした。

また、「AEDコーナー」では消防署員によるAEDレンジャーの指導のほか、子どもたちと記念撮影もあり、昨年同様多数の方々がAEDの体験をされ、親子家族で行列ができるほどの賑わいでした。



ちびっ子白衣体験

みなみかぜ

健康かがやき祭は年々、地域に根付いたものになっていると実感しています。

アンケート結果でも初めて参加された方、毎回参加されている方も「健康のため毎年楽しみにしています」「スタッフの皆様もみんな親切で優しいです」「栄養相談良かったです」等、主催者にとって大変有り難い意見をたくさんいただきました。「今後も続けて欲しい」との声もたくさん頂戴し、本当に開催して良かったと感じています。

一方、各種測定コーナーの希望者も多く「血管年齢測定が出来ず、残念でした」「血管年齢測定はもう少し多くしてほしい」等の声も受付でお聞きしました。次回開催に向けての改善点を協議したいと思います。

最後に7月のかがやき祭実行委員会当初の準備から当日の運営まで携わっていただいたスタッフの皆様へ感謝申し上げます。特に催事ごとは事前の準備が重要となります。

市民の方々とともに健康づくりを推進していくために、「**ONE TEAM (ワンチーム)**」にならなければならないと思います。たいへんお疲れ様でした。

AEDレンジャー



血栓予防コーナー



内視鏡操作体験



計測コーナー



骨密度測定



薬剤相談



カード作り



AEDコーナー



放射線科



栄養相談



みなみかぜ

フリーマーケット



体力測定



医学講演



不知火中学校マンドリン部



かき氷・綿菓子・ポップコーン・ヨーヨー・フードコーナー



かがやき祭集合写真



令和元年度第1回消防訓練

～ 火災発生・5分間の闘い ～

防火対策委員会

火災発生時における消火・通報・避難誘導の訓練、非常放送等設備の機能の確認と取扱いを習得し、患者及び職員に火災予防の認識、自衛消防隊各自の役割の確認と連携を目的として、今年度第1回目の消防訓練を12月6日（金）、夜間22時を想定して、「1病棟〇〇〇から出火、延焼のおそれ有り！」ということで出火場所を一部未定で実施しました。

夜間を想定した訓練の中、**如何に迅速に数少ない夜勤者でチームワークを発揮した対応ができるか**という観点も含めて、乙編成による自衛消防隊により、火災発生から鎮火報告までの行動をシュミレーションし、その後、消火器及び補助散水栓の取扱い訓練も併せて行いました。



宇城消防署からの講評としては、**①手前の部屋から一つ一つ火元を確認すること②人数が多ければ、消火器と補助散水栓を併用して使用すること③自動火災通報装置で消防署から通報が来ますが、夜間は人数が少ないので初期消火や避難誘導を優先してください。**と指導を受けました。



その他、**参加者から、火災発見時の声が小さい。自動放送で職場が分かったら直ぐに消火に走ること。**常日頃から防火対策について職員一人ひとりが自覚を持って真剣に取り組むこと。

火災発生から5分間が勝負です。この5分間に大声を出し、チームみなみの力を発揮しましょう。

最後に事務宿日直者に対し、火災受信機の取扱い確認・スプリンクラーアラーム弁、メインタンクスイッチ取扱い確認を行い、訓練を終了しました。

最後に事務宿日直者に対し、火災受信機の取扱い確認・スプリンクラーアラーム弁、メインタンクスイッチ取扱い確認を行い、訓練を終了しました。



世界糖尿病デー 出張一日健康相談

～世界糖尿病デー2019年11月14日(木)～



～宇城市健康ポイント対象事業～

令和 元年11月13日(水)、『世界糖尿病デー』に伴い、イオンモール宇城特設会場において出張一日健康相談を14:00～16:00の時間帯で開催しました。

糖尿病・がん・心臓病・脳卒中等、生活習慣病の改善の重要性について、市民のみなさま一人一人が理解を深め、健康づくりの実践を促進されるため、宇城市健康づくり推進課『さしより野菜・たっぷり野菜プロジェクト』と連携しての宇城市健康ポイント対象事業としました。

内容は、血圧・血糖値・身長・体重・体脂肪・骨密度測定や医師、栄養士による健康相談です。

受付やチラシ配布など宇城市と合同で行い、相談コーナーには当院の管理栄養士と宇城市の管理栄養士を並列にし、来客者の相談対応を行いました。

開始前から行列ができ、短い時間の中、約90名の方々を受付しました。骨密度測定は人気No.1で、待ち時間が長くてできましたが、糖尿病を患っておられる方等、医師による医療相談も最初から最後まで、けっこう時間がかかっていました。

医師・栄養士による相談件数は75名でした。



「親切なスタッフの方々ととても良かった」「これからも続けてほしいと思います」「近くに地域のことをみてくださる病院があることに感謝します」「患者に寄り添う病院であってほしいです」などの声を聞くことができました。

また、私たちスタッフに対しても、「笑顔で親切に対応して頂き、ありがとうございました」と感謝されました。

「地域に密着した優しく思いやりのある医療を目指していく」ために、これからも宇城市健康づくり推進課と連携していくことが重要です。

雄志職員一丸となって、市民への健康に対する啓発活動、さらには患者・家族に対し、真に寄り添う病院にしなければならないと思います。





World Diabetes Day Committee in うき

世界糖尿病デー2019年11月14日(木)



熊本南病院

世界糖尿病デーとは

11月14日の世界糖尿病デーは、世界に拡がる糖尿病の脅威に対応するために1991年に国際糖尿病連合と世界保健機構が制定し、2006年12月20日、国連総会において「糖尿病の全世界的脅威を認知する決議」が加盟192カ国の全会一致で採択されると同時に、国連により公式に認定されました。11月14日は、インスリンを発見したカナダのフレデリック・バンティング博士の誕生日であり、糖尿病治療に画期的な発見に敬意を表し、この日を糖尿病デーとして顕彰しています。

ブルーサークルでつながろう

国連や空を表す「ブルー」と団結を表す「輪」を使用したシンボルマークに熊本南病院のロゴマークを輪の中に配置、ダブルサークルとしてつなぎました。

市民公開講座

2019うき緩和ケアフォーラム

～地域で支える緩和ケア～

事務局 紫垣 雅英



2019年11月23日（土）、宇城市松橋町総合体育文化センター「ウイングまつばせ」に於いて、『2019うき緩和ケアフォーラム』を盛大に開催しました。

オープニングセレモニーとして宇城市不知火中学校マンドリン部による演奏を披露しました。とても爽やかなマンドリンの音色でした。

開式に際して、宇城市長 守田憲史 さま、宇土地区医師会長 勝目康裕 さま、熊本県宇城教育事務所長 光山 忠 さまからご祝辞をいただき、いずれも地域に密着したこのフォーラムの意義について賛同していただきました。

特別講演として九州地域で最も歴史がある社会医療法人栄光会副理事長・栄光病院ホスピス長 下稲葉順一 先生に、自分らしく『生きる』～ホスピス緩和ケアの現場から～という演題で講演をいただきました。

ホスピス緩和ケアの提供を通じ、医療・看護・介護の原点を説いていただき、現場で大切なこととして、患者さん・家族を「支える」ために専門職として確かな「知識・技術」、患者さん・家族に「寄り添う」ために専門職を超えた関わり「人間力」→最も大事なことは『寄り添う力』確かなものを『心を込めて』提供できる医療スタッフ。『こころ』を込めなければ・・・①「ケア」ではなく「作業」になる②『こころ』が病んでいる患者さん・家族をケアできない③病は『こころ』がなければ癒やされないと優しい口調で話されました。聴衆や病院職員も深く頷いて、緩和ケアについての認識をあらたにさせていただけたと思います。



第二部として地域の開業医、行政、教育、患者家族の代表からご意見をいただき、「緩和ケア」すなわち「がん」になった時の体と心の治療について討論しました。

ディスカッションのタイトルを「がんと向き合い、ともに支え合う社会を目指して」といたしました。

はじめに、小篠内科医院院長 小篠揚一先生と中村医院院長 中村亮斉先生に訪問診療やがんの患者さん・家族との関わりや当院との連携などについて実績報告や意見をいただきました。

教育関係からは宇城市立豊川小学校研究主任 竹之内裕二先生が～「かかわること」「見つめること」を大切にした「健康教育」の推進を通して～ということで、教育実践の具体的な取り組み状況や「がん」や「生活習慣病」に対する予防や生徒家族への啓発活動の重要性とその現状を報告していただきました。

「がん教育」では金光敬一郎先生を講師やゲストティーチャーとして招聘し、マッピングや思考ツールを活用しながら学習しています。と話されました。

続いて行政・福祉面から宇城市健康づくり推進課係長保健師 岩井智美さまから、宇城市の現状と取り組み「がん検診・特定健診の受診状況」では、胃がん・大腸がんの受診率が25%未満、肺がん・乳がん検診で35%未満と低い受診率の報告があり、参加者からため息が出ていました。

その他、①ピロリ菌感染検査料金助成事業が通年になったこと、②「さしより野菜推進事業」の取り組み③生活習慣病の重症化予防対策（健診後の結果説明会・訪問活動での支援）などについて報告をいただきました。患者さま・家族の代表として、宇城市健康づくり推進員代表理事 西岡ミチ子さまからは「住み慣れた地域で安心して療養ができること」と「患者・家族の気持ちに寄り添ったケアとともに、いろいろな課題をスタッフ間で共有してほしい」と意見をいただきました。また入院中には支援情報を的確に伝えていただきたいことも要望されました。



総合討論では各方面からの追加のご意見やがんの進行で最後は亡くなることをどう教育で教えていくかということについては、命の大切さや尊さを教育に繋げていきたいと意見をいただきました。

最後にコーディネーターの金光敬一郎病院長から患者さまの気持ちを大切に思いやりの心を忘れず、またこのフォーラムでのことを家庭に帰ってからもご家族で会話をしていただきたい。そしてこの地域でがんの医療、緩和医療を支え合っていきたいとの思いを述べられて、終了としました。

このフォーラムに多大なご支援をいただいた開業医の両先生、宇城市健康づくり推進課及び推進員の皆様、熊本県宇城教育事務所の皆様、裏方としてこのフォーラムの準備に汗を流してくれた熊本南病院職員の皆さんに感謝します。

最後になりますが、2019うき緩和ケアフォーラムの開催にあたり、熊本県・熊本県教育委員会・熊本県PTA連合会・宇城市・宇城市教育委員会・宇土市・宇土市教育委員会・美里町・美里町教育委員会・宇城PTA連合会・宇城市老人クラブ連合会・がんサロンネットワーク熊本・熊日・RKK・KAB・KKT・TKU・NHK熊本放送局さまの後援名義をいただきましたことに対し、深く御礼を申し上げます。



2019 うき緩和ケアフォーラム

「地域で支える緩和ケア」

～がんと向き合い、共に支え合う社会を目指して～



緩和ケアについて考える時期は、「早すぎる」ことも「遅すぎる」こともありません。人は、体力や気力がなくなると考えることができなくなります。そんなときは、じっとエネルギーを蓄えることが必要です。一人で抱え込まず、周囲の医療スタッフやご家族にご相談ください。

緩和ケアのスタッフは、患者さまの悩みや不安について、一緒に考え、納得できる生活をおくられるために支援をしていきたいと思っています。

がんについて学び、正しく理解し、がんの予防、早期発見・検診について関心を持ち、がんと向き合う人々を通じて、自他のいのちの大切さを知り、生きることについて考えたいと思います。

住み慣れた地域で安心して療養生活ができるよう保健・福祉・教育・医療の連携を深めていきたいと思います。

ご相談ください。

あなたの大切な方のために、

あなた自身のために。

- 日時：2019年11月23日(土曜日) 13時30分～
 場所：宇城市松橋町総合体育文化センター「ウイングまっぼせ」
 主催：国立病院機構熊本南病院臨床研修センター
 共催：熊本県がん診療連携協議会緩和ケア部会
 熊本大学病院緩和ケアセンター
 後援：熊本県・熊本県教育委員会・熊本県PTA連合会・宇城市・宇土市・美里町
 宇城市教育委員会・宇土市教育委員会・美里町教育委員会
 宇城PTA連合会・宇城市老人クラブ連合会・がんサロネットネットワーク熊本
 熊日・RKK・KAB・KKT・TKU・NHK熊本放送局

〈市民公開講座スケジュール〉

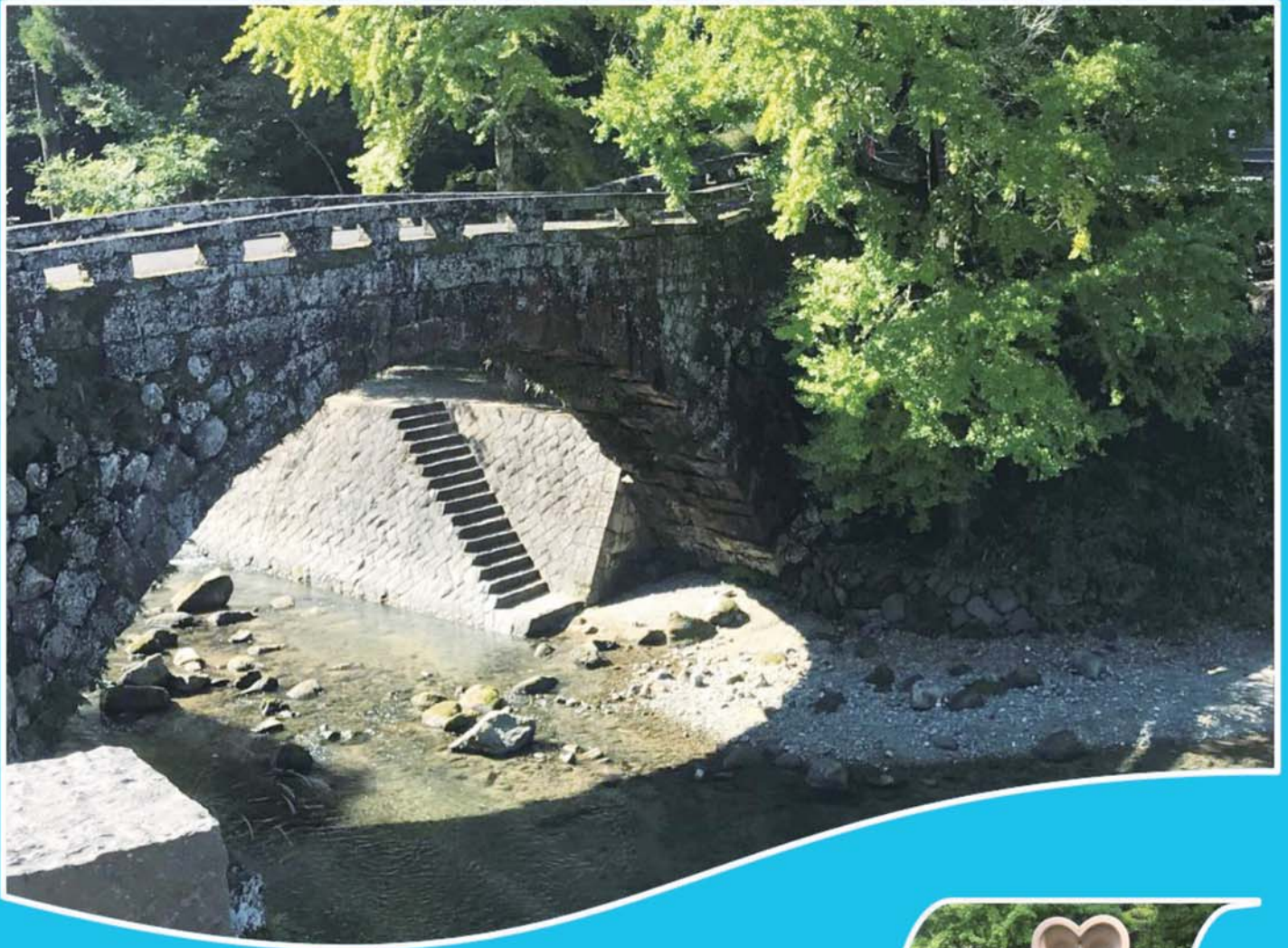
13:30	相談コーナー、展示コーナーオープン	
14:00	受付	
14:30	開演 総合司会 臨床教育研修センター 地域健康推進室事務局長	紫垣雅英
	オープニング 宇城市立不知火中学校 マンドリン部	
	開会挨拶 国立病院機構熊本南病院院長	金光敬一郎
	来賓挨拶 宇城市長	守田憲史様
	宇土地区医師会長 国立病院機構熊本南病院 開放型病院連絡会会長	勝目康裕様
	熊本県宇城教育事務所長	光山忠様
15:00	特別講演 (座長) 国立病院機構熊本南病院院長 演題 自分らしく『生きる』 ～ホスピス緩和ケアの現場から～ 演者 栄光病院副理事長・ホスピス長	金光敬一郎 下稲葉順一先生
16:00	休憩	
16:10	パネルディスカッション 「がん向き合い、共に支え合う社会を目指して」 ～保健・福祉・教育・医療の立場から～	
17:30	閉会 国立病院機構熊本南病院副院長	長倉祥一

〈相談・展示コーナー〉 1F ホワイエ 13:30～14:30

医療相談コーナー（医師、保健師）
 がん相談コーナー（医師、緩和ケア認定看護師、相談支援員）
 栄養相談コーナー（管理栄養士）
 医薬品相談コーナー（薬剤師）
 リハビリ相談コーナー（理学療法士・言語聴覚士）
 緩和ケア病棟パネル展示、がん関係冊子資料配布コーナー



ハートのできる石橋 『二俣橋』



～ 恋人の聖地 ～



ここは釈迦院川と津留川の合流地点にあたり、「二俣渡」と「二俣福良渡」というふたつの石橋を総称して「二俣橋」と呼んでいます。どちらも歴史は古く、江戸時代後期のもの。二俣渡は文政 12 (1829) 年、二俣福良渡は文政 13 (1830) 年に架けられました！

橋の手前には「恋人の聖地」のモニュメントがあります。中央には大きなハート型。二人の手でハートマークを作って自撮りをしているカップルの多発地帯でもあります！！

ハート撮影のおすすめ時期は、10月後半～2月、時間は11時30分～12時頃！

宇城管内学校教育「がん教育」

令和元年10月～12月

宇城市立河江小学校 6年生65名・教職員

日時 令和元年10月10日（木）
14：05～
場所 小学校研修室
講師 金光敬一郎 病院長
演題 『がんという病気について』



熊本県立松橋高校 生徒330名・教職員(県教委)

日時 令和元年10月18日（金）
14：50～
場所 高校体育館
講師 金光敬一郎 病院長
演題 『がんのしくみと予防について』



宇城市立豊川小学校研究発表 生徒・教職員(県教委等)100名

日時 令和元年11月15日（金）
14：00～
場所 教室・体育館
講師 金光敬一郎 病院長
演題 『がんという病気について』
＊熊本県教育委員会健康教育指定校研究
発表にゲストティーチャーとして招聘



宇城管内学校教育「がん教育」

令和元年10月～12月



宇城市立海東小学校 6年生20名・教職員

日時 令和元年12月 4日(水)
14:40～

場所 教室

講師 金光敬一郎 病院長

演題 『がんという病気について』



美里町立勸徳小学校 6年生20名・教職員

日時 令和元年12月 5日(木)
14:50～

場所 教室

講師 金光敬一郎 病院長

演題 『がんという病気について』



宇城市立不知火小学校 6年生75名・教職員

日時 令和元年12月13日(金)
15:10～

場所 教室

講師 金光敬一郎 病院長

演題 『がんという病気について』

新採用・転入者等紹介

看護師

田上 唯

11月から、外来に勤務させていただいております。

毎日一つでも多く、看護技術を学び、身につけていきたいと思っております。

よろしくお願いいたします。



算定・病歴係長

矢賀正太郎

1月より、昇任で参りました。

出身は熊本市です。

一日も早く熊本南病院に慣れ、貢献できるよう頑張りたいと思っております。

よろしくお願いいたします。



呼吸器外科医長

白石健治

呼吸器外科が専門です。

肺がん・気胸の診断（画像診断・気管支鏡）から治療（手術・抗がん剤）まで、一貫して行います。

また、救急や緩和にも積極的に取り組みます。



保清係

西村佳代子

初めまして、1月より、掃除をさせていただきます。

早くいろんなことを覚えて、頑張っていくつもりです。

よろしくお願いいたします。



医師事務補助者

赤池真由美

12月から医師事務として勤務させていただきます。

一日も早く仕事を覚えて熊本南病院の一員としてお役に立てるように頑張ります。

よろしくお願いいたします。



事務補助

右田久美子

1月より、勤務となりました。

2年半ぶりの仕事です。

早くこの仕事に慣れ、スムーズに進められるように頑張っていきたいと思っております。

よろしくお願いいたします。



食器消毒

河野浩則

11月より、食器消毒に勤務いたします。

病院勤務は初めてとなります。

どうぞよろしくお願いいたします。



支えあおう熊本
いま心ひとつに



独立行政法人
国立病院機構

熊本南病院

〒869-0593 熊本県宇城市松橋町豊福2338

TEL 0964-32-0826

FAX 0964-33-3207

[http\(s\)://kumamotominami.hosp.go.jp/](http(s)://kumamotominami.hosp.go.jp/)

E-mail:shigaki.masahide.gx@mail.hosp.go.jp